

IMMEDIATE RELEASE



The World Bank

世界銀行

News Release No. 2006/025/S

コンタクト:

ワシントン: David Theis - 202 458 8626

Carl Hanlon - 202 473 8087

東京: 平井智子, thirai@worldbank.org

(81-3)3597-6650

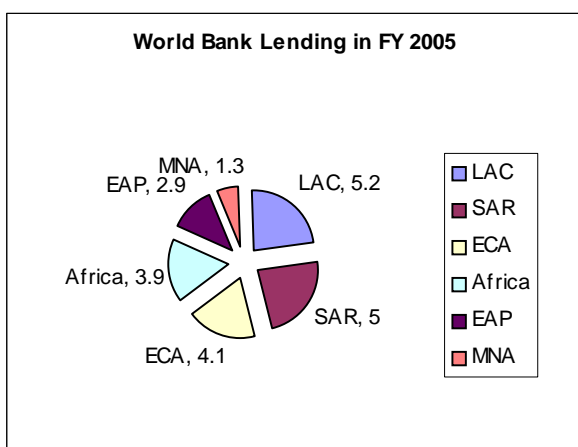
融資額拡大と同時に高品質も維持 世界銀行、2005年度実績を発表

2005年7月14日 ワシントン DC—6月30日で終了した2005年度における世界銀行の対途上国財務支援は、世界各地でのプロジェクト279件に対して223億ドルと、前年度比22億ドル増となった。

このうち136億ドルは、国際復興開発銀行 (IBRD) から主に中所得国の118件のプロジェクトに対する貸付として提供され、87億ドルは主に国際開発協会 (IDA) から最貧国の161件のプロジェクトに対する無利息の融資やグラントだった。ちなみに、2004年度のIBRDおよびIDAの融資承認額は合計201億ドルで、その内訳はIBRDが110億ドル、IDAが90億ドルだった。

新規融資の規模が拡大しただけではなく、融資の全体的な質もまた向上した。より充実した準備が行なわれたことで実行中のプロジェクトの品質が着実に改善されたこと、対象プロジェクトの選択基準を強化したこと、より効果的な実施中事業の管理が行われたことなどから、IBRD/IDAによる援助がさらに効果的に活用されるようになった。特に、開発目的を達成できないリスクのある承認済み案件の割合が、2004年度の15.9%から2005年度末には13.5%と大幅に低下した。

実行額は前年度の170億ドルから187億ドルに増えた。



世銀融資は2005年度も、さまざまな地域に広がる借入国の多様な要求やニーズを反映したものとなった。2005年度の貸付、グラント、保証で一番大きな割合を占めた地域はラテンアメリカ(計52億ドル)で、南アジアが僅差の50億ドルで続いた。ヨーロッパ・中央アジア地域には41億ドルが、アフリカには39億ドルが、東アジア・大洋州地域には29億ドルが、中東・北アフリカには13億ドルが、それぞれ拠出された。第13次IDAの資金不足が、特にアフリカへの支援額に影響を与えた。ただし、アフリカへの実行額が2004年度の33億ドルから2005年度には40億ドルに増えたことは特筆に価する。

貸付、グラント、保証のうち、157億ドルは投資に、残り66億ドルは政策ベース／開発政策の融資が対象だった。投資を対象とした融資は現在、2000年度と比べ50%増えている。

「世銀の中所得国向け援助と投資融資の規模の2点が上向きに転じたことが特に希望のもてる展開です。いずれも、そのために品質面で特に明白なトレード・オフがあったわけではないにもかかわらず実現したもので、中所得国向けアクション・プランと簡略化／近代化のアジェンダが成果を挙げつつあることが伺えます」と、世界銀行業務政策・国別サービス担当副総裁ジェームズ・アダムスは述べた。

国別に見ると承認額が特に多かったのはインドとトルコで、それぞれ28億9000万ドルと18億ドルだった。続いてブラジルが17億7000万ドル、中国が10億ドル、インドネシアが9億1700万ドルだった。IDAからの援助が一番多かった国はインドで11億ドルだった。続いてベトナムが7億ドル、バングラデシュが6億ドルだった。IBRDの貸付が一番多かった国はトルコで18億ドル、次いでブラジルが17億7000万ドル、インドが17億5000万ドルだった。

世銀の一番の使命である貧困削減は、加盟国に暮らす貧困層のために財務支援と専門知識提供を行うことで実行されている。財務支援はIBRDによる貸付と保証、IDAによるグラント、貸付、保証という形で行われている。IBRDは国際資本市場で資金を調達し、IDAの資金は富裕国からの直接の拠出金でまかなわれている。IBRDの借入国は主に、中所得国と、借入に必要な信用力が認められた大規模な低所得国である。一方、IDAの支援対象国は、民間資本市場での借入ができない貧困国となっている。IDAはこれらの国々に対しグラントおよび「開発融資」と呼ばれる、無利息で35－40年と返済期間の長い譲許的融資を提供している。IDAは世界の貧困国にとって有利な形で財政支援を行う単独では最大の機関である。

特別融資と地球環境ファシリティ(GEF)のプロジェクトは3億100万ドル規模だった。その内訳を地域別にみると、東アジア・大洋州が1億1000万ドル、次いで中東・北アフリカが5600万ドル、ヨーロッパ・中央アジアが5400万ドル、アフリカが5100万ドル、ラテンアメリカが3100万ドルだった。

世銀グループは引き続き、各開発機関による援助の分断化や重複を避けるために必要な援助の調和化や一本化を念頭において活動している。こうした動きについての顕著な事例は、特にアフガニスタン、イラク、津波被災地域における復興活動に認められる。

###